

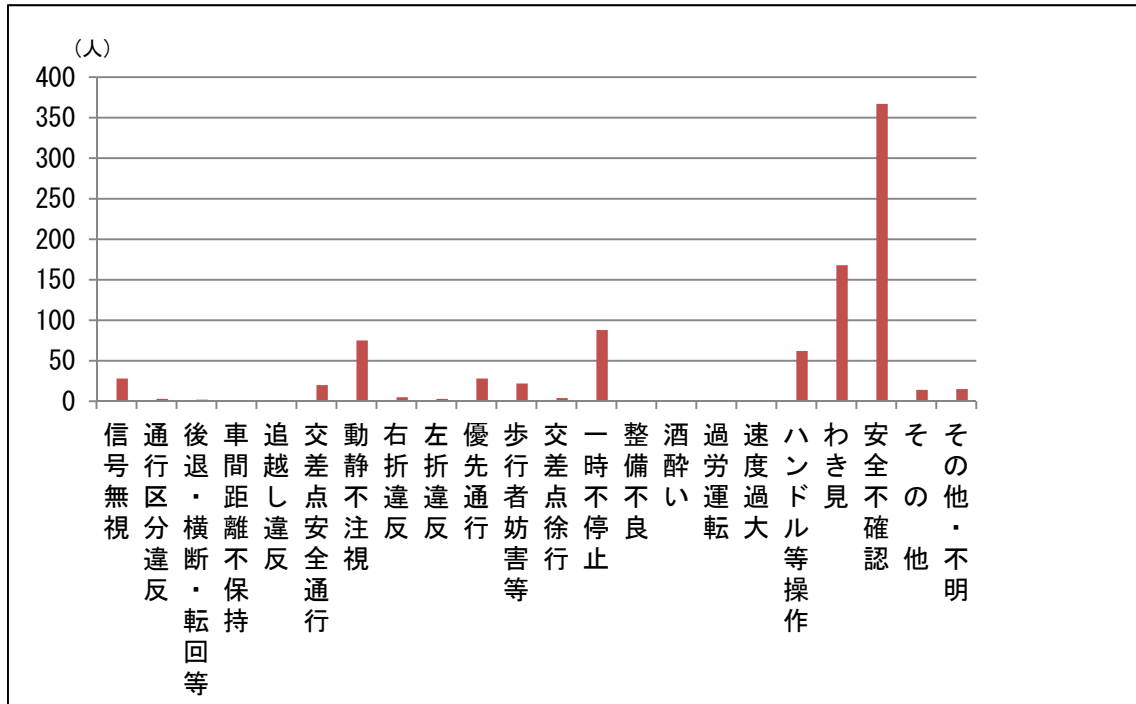
交通事故原因別統計データ〔H24～H26〕（年代別，状態別）

1 四輪車・二輪車乗車中の第一当事者の事故原因別

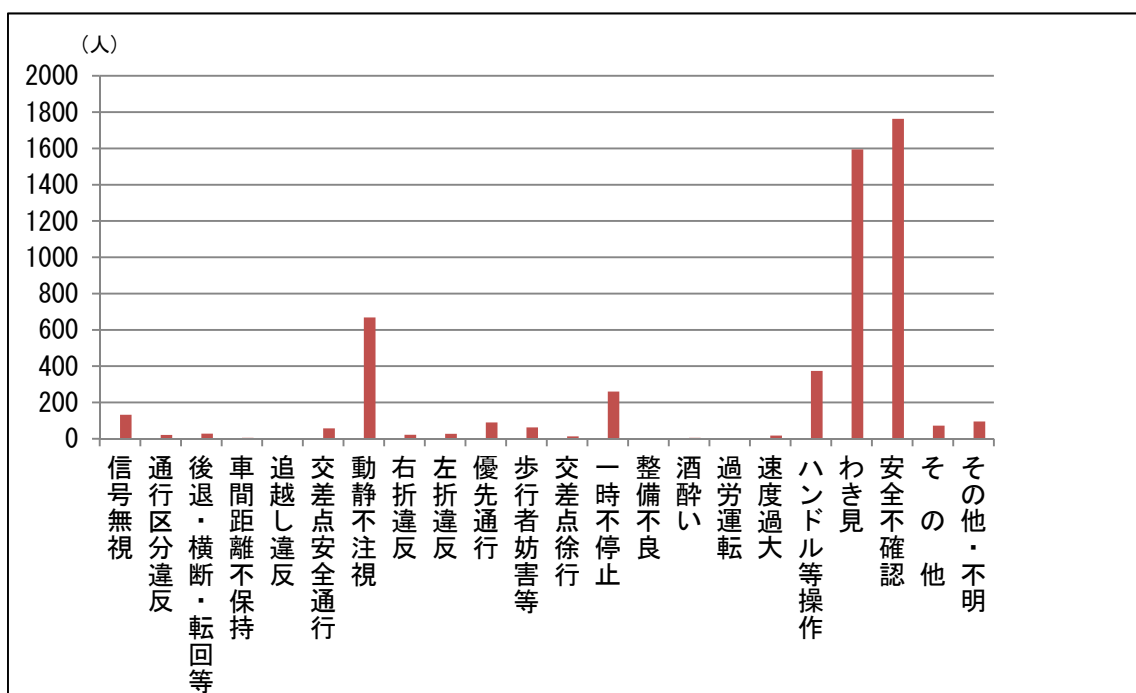
【事故の特徴】

- ・全世代とも、「安全不確認」が原因とされる事故が多い。
- ・65歳未満では，高齢者と比べ「わき見」が原因となる事故の割合が高い。

(1) 高齢者



(2) 65歳未満

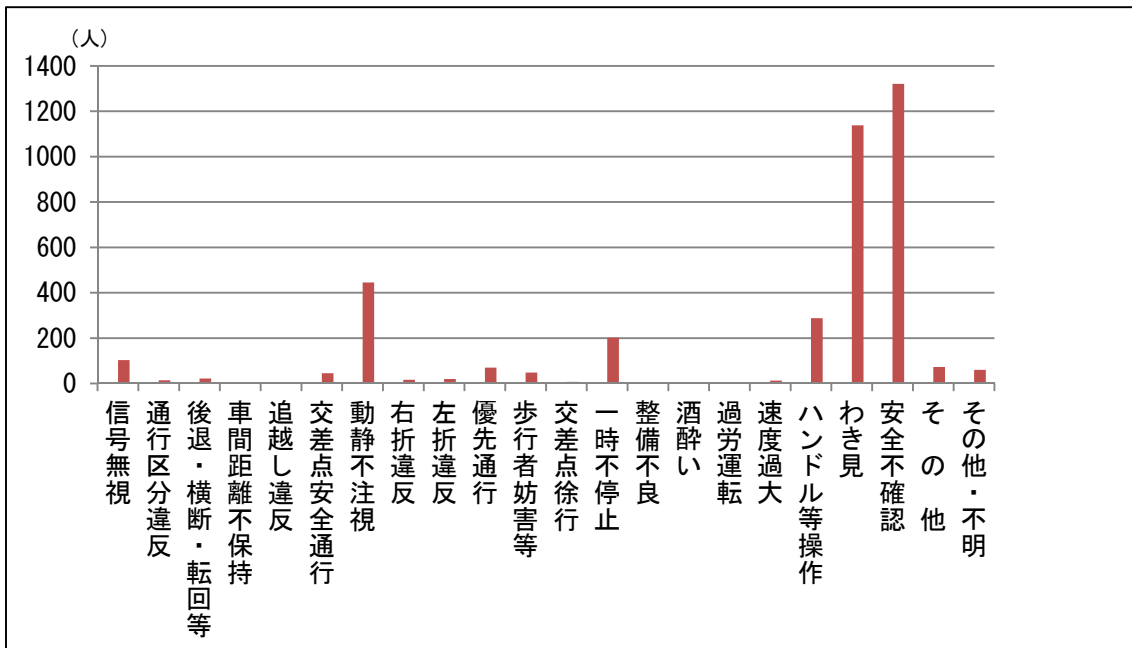


## 2 男女別の四輪車・二輪車乗車中の第一当事者の事故原因別（第1当事者）

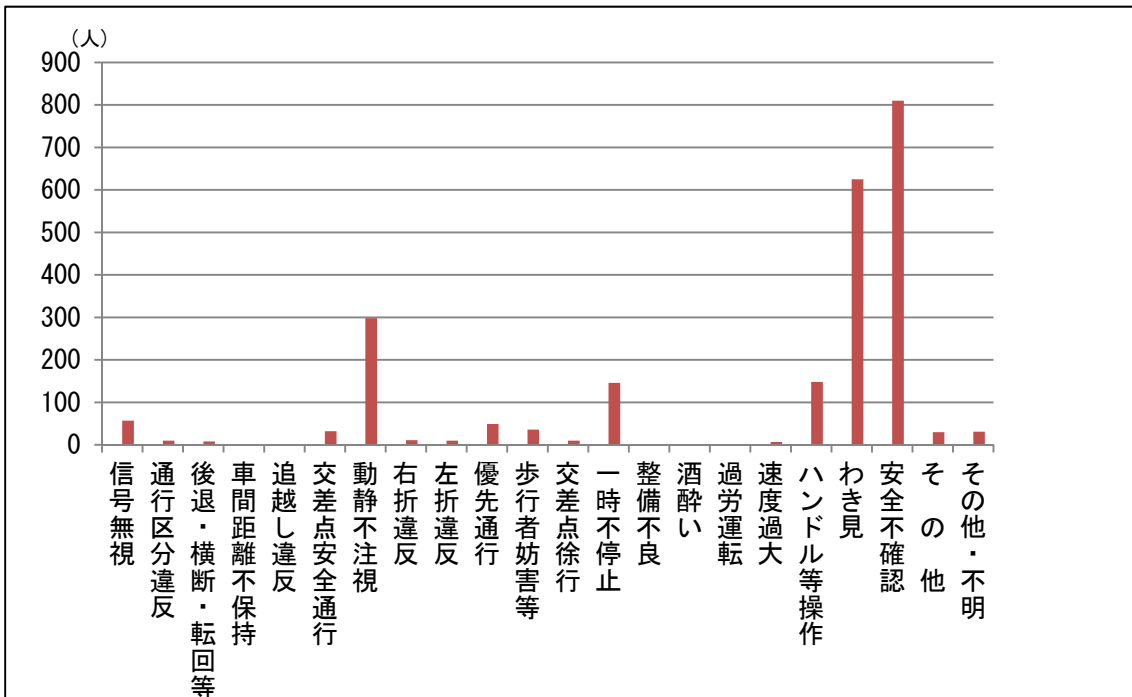
### 【事故の特徴】

- ・男性，女性別では，特に大きな差異はみられない。

#### (1) 男性



#### (2) 女性

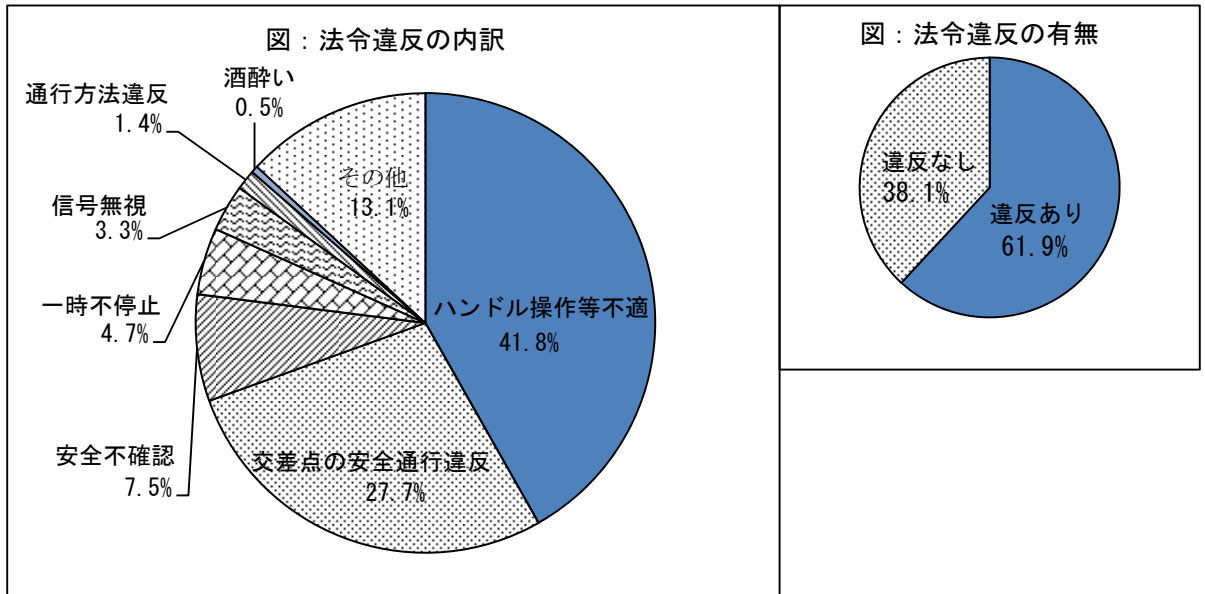


### 3 自転車乗車中の第1, 第2当事者の事故原因別

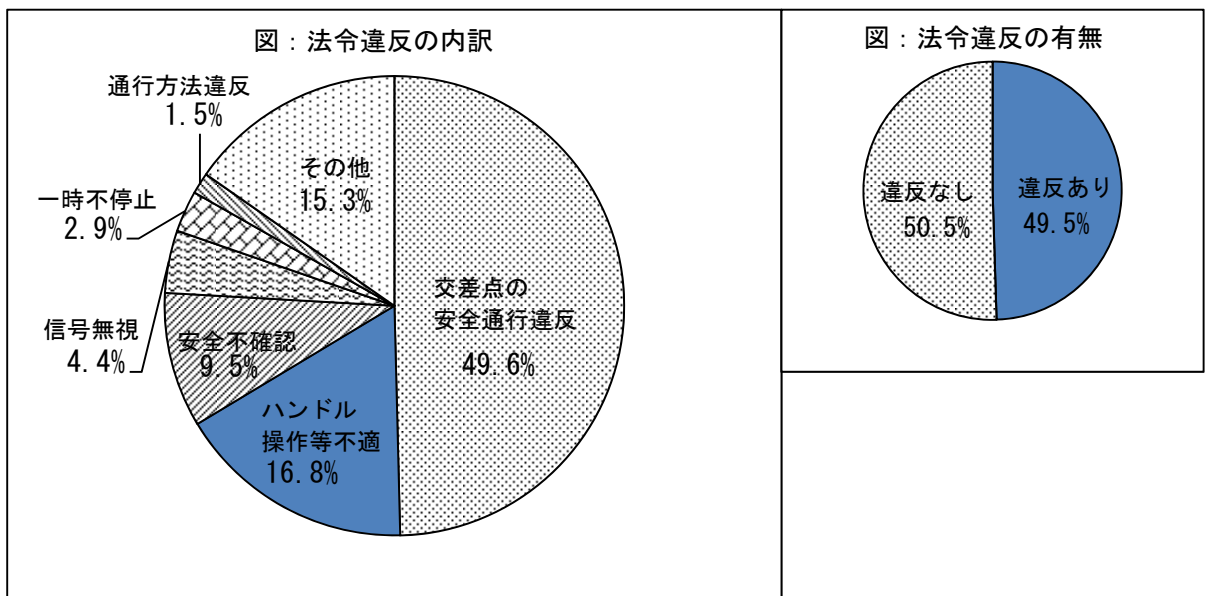
#### 【事故の特徴】

- ・高齢者の事故原因は「ハンドル操作等不適」の割合が高く、その他の世代では「交差点の安全通行違反」が高い。
- ・高齢者と24歳以下の世代で、事故を起こした際に、法令違反をしている割合が高い。

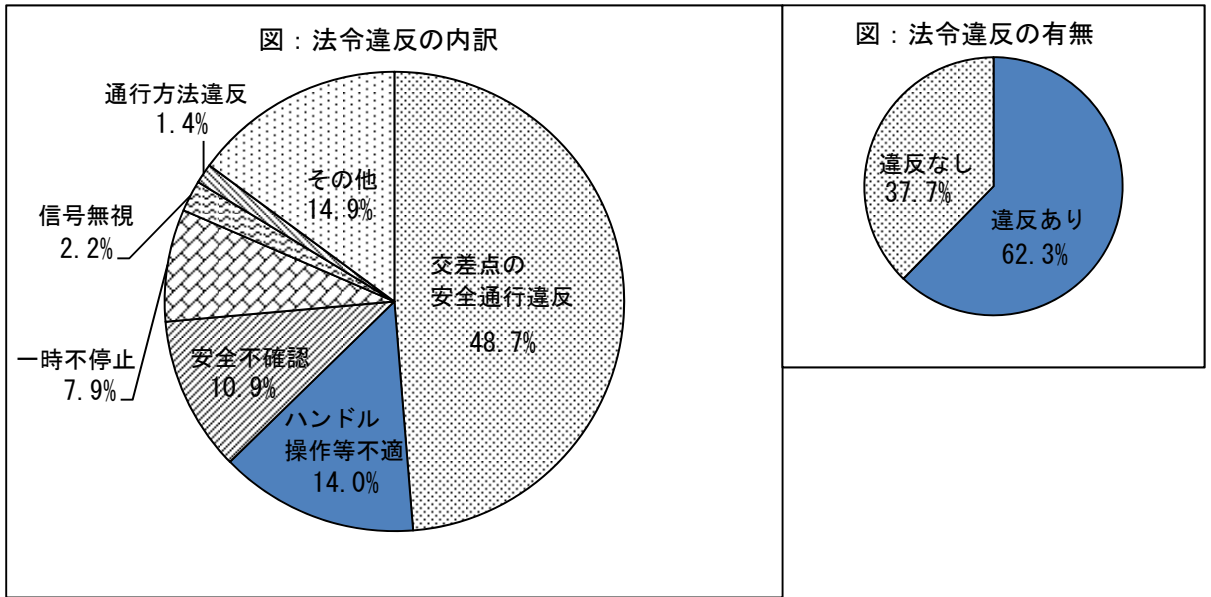
#### (1) 高齢者



#### (2) 25歳から64歳



(3) 24歳以下

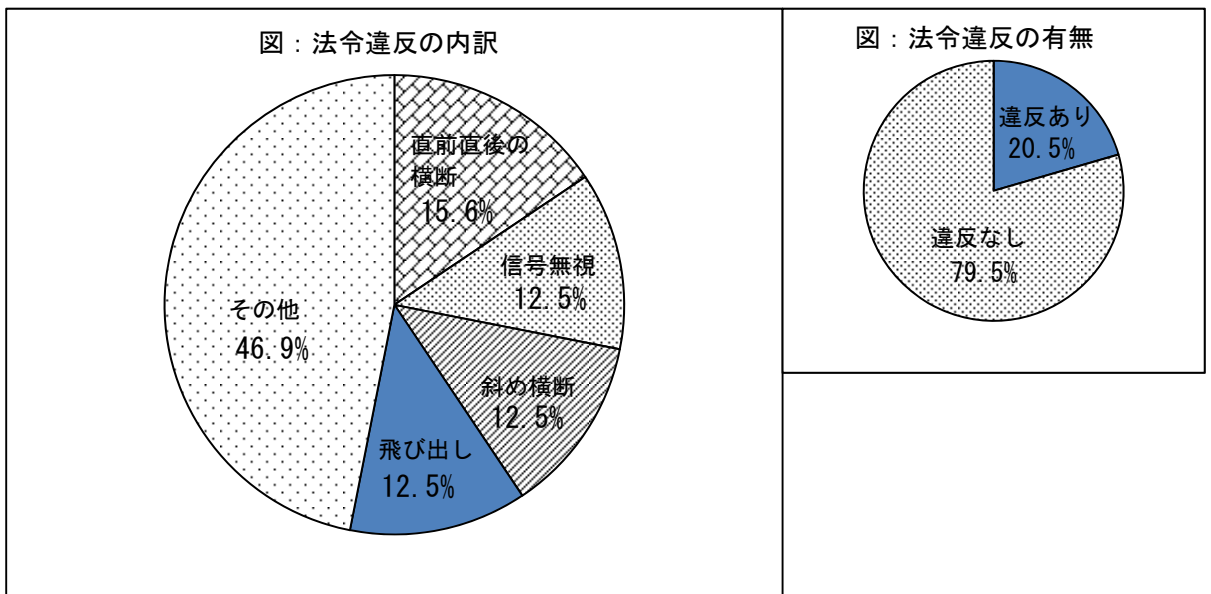


4 歩行中の第1, 第2当事者の事故原因別

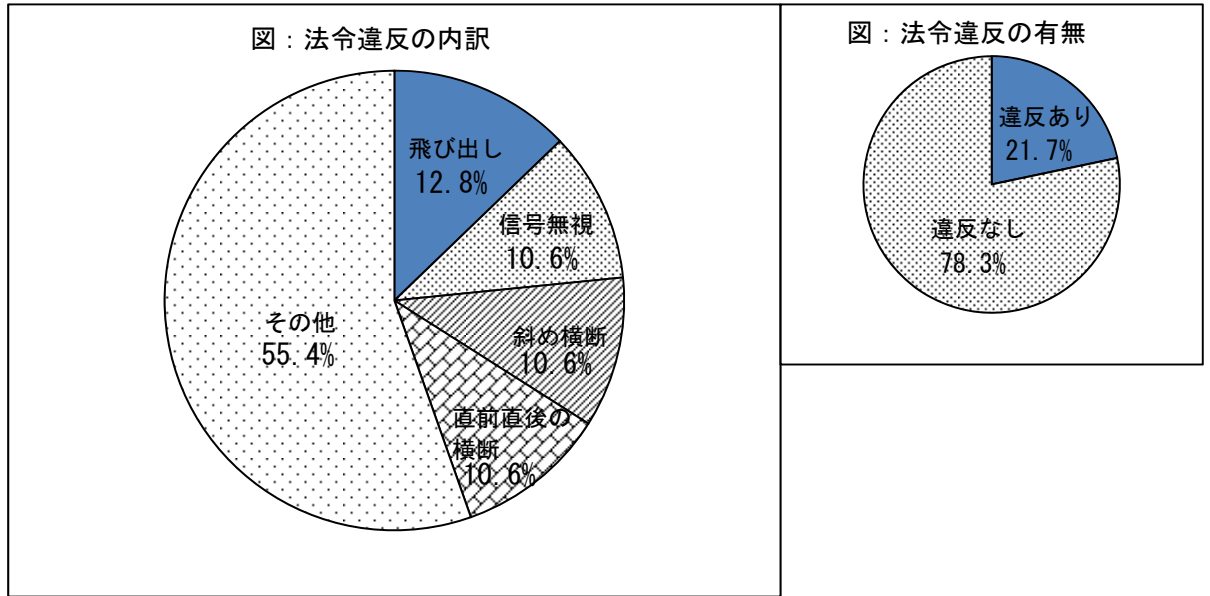
**【事故の特徴】**

- ・ 24歳以下の事故原因は「飛び出し」の割合が高い。「飛び出し」は、主に小学生以下の年代が多い。
- ・ 24歳以下の世代で、事故を起こした際に、法令違反をしている割合が高い。

(1) 高齢者



(2) 25歳から64歳



(3) 24歳以下

